

# 「明大商学論叢」論文執筆要領

明治大学商学研究所

(論文、研究ノート、研究資料の原稿の形式)

## 1 原則として、

- 和文原稿はA4判1枚につき、“横42文字”、“縦33行”とし、合計25枚(34,650文字)以下とする。
- 英文原稿はA4判1枚につき、“横84ストローク(strokes,半角で)”、“縦33行”とし、合計25枚(半角で69,300文字)以下とする。  
(英文以外の言語による原稿は英文原稿に準ずるものとする。)

(タイトルおよび執筆者名)

## 2

### ■タイトル

- (a) タイトルは日本語と英語(英語以外の言語による場合は英語の場合に準ずるものとする。)で書くものとする。

### ■執筆者名

- (a) 日本語による執筆者の氏名は姓・名の順序とする。  
(b) ローマ字による執筆者の氏名は半角で名・姓の順序とし、それぞれの最初の文字のみ大文字とする。

(例) 山川太郎; Taro Yamakawa

(書評の原稿の形式)

## 3 原則として、

- 和文原稿はA4判1枚につき、“横42文字”、“縦33行”とし、合計8枚(11,088文字)以下とする。
- 英文原稿はA4判1枚につき、“横84ストローク(strokes,半角で)”、“縦33行”とし、合計8枚(半角で22,176文字)以下とする。  
(英文以外の言語による原稿は英文原稿に準ずるものとする。)

(翻訳の原稿の形式)

## 4 原則として、

- 和文原稿で、A4判1枚につき、“横42文字”、“縦33行”とし、合計25枚(34,650文字)以下とする。
- 英文原稿はA4判1枚につき、“横84ストローク(strokes,半角で)”、“縦33行”とし、合計25枚(半角で69,300文字)以下とする。  
(英文以外の言語による原稿は英文原稿に準ずるものとする。)

(脚注-footnote-)

- 5 脚注は注が指示してある頁の下部に連続番号で記載するか、あるいは、各章・節あるいは原稿の最後に纏めて記載し、脚注記載箇所を指示(連続番号で指示)してもよいものとする。

(タイトル、執筆者名、脚注、グラフ、図・表、参考文献、等)

- 6 論文、研究ノート、研究資料、書評、翻訳とも、上記の枚数に含めて計算するものとする。

(執筆上の注意事項)

- 7 外見上、統一した体裁の論叢となるよう、別紙（「明大商学論叢」論文執筆上の標準的注意事項）の指示に従って執筆するものとする。

(提出方法)

- 8 論文、研究ノート、研究資料、書評、翻訳とも、原稿は文書作成ソフトのデータ及びPDFに変換したデータの2種類を電子メールに添付し提出すること。

原稿提出用アドレス：[shoronso@kisc.meiji.ac.jp](mailto:shoronso@kisc.meiji.ac.jp)

2022年6月26日明治大学商学研究所運営委員会決定